

定例会議の開催状況

- 1 日時 令和7年8月20日（水）午後2時00分～午後4時15分
- 2 出席者 櫻井委員長、和田委員、逸見委員、斎藤委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本
部長
説明補助者
公安委員会事務室長、生活安全指導官、交通聴聞官、運転免許センタ
ーセンター長補佐、警備対策官
- 3 議題事項
 - (1) 古物営業者に対する行政処分の量定案について
生活安全指導官から、「聴聞を実施した古物営業者について、行政処分を決定
していただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、行政処分を決定した。
 - (2) 運転免許関係の意見聴取等について
交通聴聞官から、運転免許取消対象事案24件について、事案内容及び意見聴
取等結果の説明があり、審議の結果、取消し24件の行政処分を決定した。
 - (3) 警察職員等の援助要求について
警備対策官から、「愛子内親王殿下の「防災推進国民大会2025in新潟」御臨場
等に伴うお成り警衛に万全を期すため、千葉県公安委員会及び山形県公安委員
会に警察職員等の援助要求を行いたい。」旨の説明があり、審議の結果、原案ど
おり決定した。
- 4 報告事項
 - (1) 公安委員会宛て苦情申出の受理について
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた警察職員の職務執行に関
する苦情申出について報告があった。
 - (2) 公安委員会宛て文書の受理について
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた文書について報告があっ
た。
 - (3) 部外功労者表彰（関東管区警察局長感謝状）被表彰者の決定について
首席監察官から、部外功労者表彰（関東管区警察局長感謝状）被表彰者の決
定について、資料に基づき報告があった。
 - (4) 内部公益通報の調査結果について
首席監察官から、内部公益通報の調査結果について報告があった。

(5) 「詐欺撃退アプリキャンペーン」の実施について

生活安全部長から、「詐欺撃退アプリキャンペーン」の実施について、資料に基づき報告があった。

(6) 交通指導取締りにおけるウェアラブルカメラの活用に関するモデル事業の実施について

交通部長から、交通指導取締りにおけるウェアラブルカメラの活用に関するモデル事業の実施について、資料に基づき報告があった。

委員から、「複製要件にその他利用目的に資する資料として活用することが見込まれるものとあるが、対応に紛議があった際に活かすだけでなく、好事例の映像を教養に活用すると、現場がイメージでき、効果的な教養になると思う。特に警察学校における教養に活かしていただきたい。また、映像の管理方法は明確にした方が良いと思う。」旨の発言があった。

委員から、「一般の方に事業が認知されると撮影した映像の開示を求められることが想定されるが、そのような場合はどのような対応となるのか。」旨の質問があり、交通部長から、「個人情報保護に関する法律及び新潟県情報公開条例に基づき対応する。」旨の説明があった。

委員から、「この度のモデル事業は交通指導取締りが対象となっているが、警察業務全般に対象が広がることが今後予想される。この事業は警察の適正業務を伝えるものであり、事業により職員が業務で委縮することにならないようにしながら、有効活用をお願いしたい。」旨の発言があった。

委員から、「撮影中断の基準など、現場で警察官が悩むことのないよう、基準を明確にしていきたい。」旨の発言があり、交通部長から、「モデル事業における問題点等が警察庁において精査され、基準が明確化されていくと思われる。」旨の説明があった。

委員から、「モデル事業の実施を一般の方は認知しているのか。」旨の質問があり、本部長から、「認知が広がるよう定例記者会見で交通部長から報道発表を行うなどにより周知を図るほか、交通取締り現場において必要に応じて説明するなどの対応を行う。」旨の説明があった。

(7) サイクルポリスの体制強化について

交通部長から、サイクルポリスの体制強化について、資料に基づき報告があった。

(8) 令和7年7月末現在の交通事故発生概況等について

交通部長から、令和7年7月末現在の交通事故発生概況等について、資料に基づき報告があった。

(9) 陸上自衛隊高田駐屯地に係る「小型無人機等飛行禁止法対象施設指定」について

警備部長から、陸上自衛隊高田駐屯地に係る「小型無人機等飛行禁止法対象施設指定」について、資料に基づき報告があった。

5 その他

(1) 委員長就任挨拶

櫻井委員長から、「令和4年に委員に就任して2期目に入り、委員長となり、身の引き締まる思いである。これまで視察などを通じ警察業務への理解を深めて来たが、これから1年間、様々なバックグラウンドを持つ委員と知恵を出し合って委員会の活動を進めてまいりたい。全国的に様々な問題があり、それに対する公安委員会の役割が問われていると感じているが、警察は自浄能力がある組織だと思っている。使命感、正義感を持つ職員一人一人が生き生きと活動できる県警察であってほしいと願っている。」旨の挨拶があった。

本部長から、「県警察においても様々な課題があるが、全国に学びながら、県民の安全安心のために職員一人一人が力を発揮できる組織作りを行ってまいりたい。委員会には適時適切に報告を行い進めてまいりたい。」旨の発言があった。

(2) 第27回参議院議員通常選挙違反取締本部の解散について

刑事部長から、「6月23日に警察本部及び各警察署に設置した「第27回参議院議員通常選挙違反取締本部」については、8月19日をもって解散した。」旨の報告があった。